

知って備える 防災メモ

第88回



避難所での感染を防ぐ

地震や噴火、洪水、土砂災害など、災害はいつ発生するか分かりません。国内において、新型コロナウイルス感染症の拡大が続いている現在も、災害が発生する可能性があります。

災害の発生、または発生するおそれがある場合に市が開設する避難所においても、集団感染が発生しないよう、感染症対策に万全を期すことが重要です。

市は、避難所内で3密（密閉空間・密集場所・密接場面）をつくらず、また、衛生環境を保てるよう、準備を進めています。避難所での感染症対策は、避難される方皆さんの協力が必要不可欠です。

すぐに持ち出すことができるよう、準備をお願いします。

避難所生活は、集団生活

避難所に着いたときには、今一度自身の健康状態を確認し、体調が優れないときには、すぐに市職員などに申し出てください。

避難所において、手洗いや咳エチケットなどの徹底や定期的な健康状態のチェックをしていただくことも重要です。

また、集団感染のリスクを下げるため、受入人数を制限する可能性もあり、災害の状況を見ながら、他の避難所へ移動していただく可能性もあります。

災害発生時には、多くの方が被災者となります。自助・共助の観点から、一定期間避難できるよう、あらかじめ備えることが、避難所における感染症対策にもつながります。

非常用持ち出し品の中にマスクなどを

避難所内のほか、避難時においてもマスク（無い場合は、鼻や口を覆うハンカチなど）が必要となります。

また、除菌シート（アルコール消毒液など）も、さまざまな場面で活用できますので、災害発生時などに

▼問い合わせ
総務グループ (☎0193) 1130

とうほんせいそう 東奔西走

▲支援金を贈呈するのぼりべつ元鬼協議会西尾拓也会長（右から2人目）



市内の飲食店を応援

登別お食事券プロジェクト

4月13日(月)から5月15日(金)にかけて、「登別お食事券プロジェクト」（同実行委員会主催）が実施されました。

このプロジェクトは、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた営業自粛などで影響を受けている市内の飲食店を応援するために、クラウドファンディングを活用したものです。約1カ月間で、市内約60店舗の飲食店に対し、431人から1千万円を超える支援が集まりました。

支援者からは「応援しています」、「落ち着いたら食べに行きます」などの温かい応援メッセージも寄せられました。

4/13
~
5/15

『危険』を『目』で

4/20

山菜採りによる遭難事故防止啓発看板設置

雪解けが進んだ4月20日(月)、市は上登別町や鉾山町に遭難事故防止を呼びかける看板を設置しました。

市内では、山菜採りに出掛けた方が遭難する事故が後を絶たず、残念ながら、令和2年度においても遭難事故が発生しています。

遭難する人は、初めての方よりも毎年のように山菜採りを行っている方が多く、いつもの場所だから大丈夫などといった油断が危険を招いています。

大切な命を落とさないよう、責任ある行動をお願いします。



▶過去に遭難事故が発生した地域に看板を設置する黒崎登別交番所長